

人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ

# 福生の教育



福生市公式キャラクター  
たっけー☆☆

—編集 発行—

福生市教育委員会  
教育部 教育総務課

〒197-8501  
福生市本町5番地  
042-551-1511  
(市役所代表)

主な記事 ○令和4年度福生市教育方針 ○ふっさっ子スタンダードを改訂しました! ○放課後子ども教室「ふっさっ子の広場」に集まれ!

## 市内小・中学校の校長先生・副校長先生を紹介します!

### 福生第一小学校



校長  
高瀬 智子

一小の伝統を大切にするとともに、これからの時代を担う子どもたちが、自身の成長を実感できる学校を目指し、学び合い、高め合う教育を進めています。



副校長  
近藤 弘幸

「子どもたちの元気な声と笑顔があふれる、学び合う学校」を目指して、教職員と一緒に新しい課題に挑戦していきます。

### 福生第二小学校



校長  
湊 仁

令和3・4年度東京都人権尊重教育推進校として、人権教育に取り組んでいます。自己肯定感を高め、相手の思いやり、挨拶の上手な子どもたちを育成します。



副校長  
浅井 博行

東京都人権尊重教育推進校として、教育目標「思いやりのある子」の育成を重点に、教職員、保護者の皆様、地域の皆様の力を集結し、教育活動を進めてまいります。

### 福生第三小学校



校長  
鈴木 智子

「支え合い、学び合い、高め合い」を、子どもたちの中に、教職員の中に、そして地域・保護者と学校の間の実現し、「子どもの成長」を第一にした学校を目指します。



副校長  
西村 学徳

地域の御支援の下、長年受け継がれてきた本校の伝統「和太鼓学習」「藍染学習」を今年も大切にしながら、子どもたちの笑顔が溢れる学校づくりに邁進していきます。

### 福生第四小学校



校長  
南方 孝之

「元気いっぱい 笑顔あふれる みんなの学校」を合言葉に、確かな学力と豊かな心の育成を目指します。輝かしい未来に向かって、着実に前に進んでまいります。



副校長  
阿部 憲一

玉川上水が学区内に流れる四小は、豊かな自然環境の中でのびのびと成長する子どもたちが宝です。保護者の方々や地域社会の方々や力を合わせ、よりよい学校を作ります。

### 福生第五小学校



校長  
泉田 巧人

地域の方、保護者の方、教員の三者が一体となり、児童一人一人を大切に、もてる力を十分に発揮できる学校づくりを目指します。



副校長  
村上 正昭

豊かな自然やあたたかい地域の人々に恵まれた愛鳥モデル校・災害安全をテーマにした安全教育推進校として、ふっさっ子とともに未来をつくっていきます。

### 福生第六小学校



統括校長(※)  
榎並 隆博

昨年度、新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、予定した全ての行事を実施したことが、本校の強みであり自慢です。



副校長  
田村 忍

とにかく元気な子どもたち、協力的な保護者の皆さん、子どもたちを温かく見守る地域の方々、先生たちの団結力、これが六小のよさです。

### 福生第七小学校



校長  
山岸 史子

保護者・地域の皆様と共に職員一同力を合わせ、子どもたちが互いに尊重し合う環境の中で、考える力と優しさ、たくましさ育ててまいります。



副校長  
中村 将行

温かい地域と保護者の皆様の協力の下、学校を核として子どもを育てています。一人一人の子どもが大切にされ、笑顔があふれる学校にしています。

### 福生第一中学校



校長  
沼田 博明

本校の教育目標「自立・共生・貢献」を具現化するために、生徒一人一人の主体性を育み、豊かな人間性を開花させることができる学校を目指します。



副校長  
田中 洋介

将来グローバル社会で活躍できる人になれるよう、「仲間と協力し合う中で自分を磨き、そして社会に貢献しようとする生徒」の育成を目指します。

### 福生第二中学校



校長  
小出 宏

保護者の皆様、地域の皆様と共に、「夢」の実現に向け「チャレンジ」するふっさっ子を、教職員一同、心を込めて全力で応援してまいります。



副校長  
平井 貞昭

福生第二中学校の伝統を引き継ぎ、保護者の皆様と地域の皆様から信頼される学校づくりのため、教職員一丸となり生徒のための教育を推進していきます。

### 福生第三中学校



校長  
植村 多岐

三中は、生徒数約200名。生徒と教員との濃い人間関係等小規模の良さを活かし「安心・安全で認められ、楽しい体験ができる」学校を目指しています。



副校長  
小野 昌彦

「三中」と聞いただけで、思わず「にっこり」できるように、保護者・CS委員、地域の方々との連携に努め、三中の良さを発信するようにしていきます。

この教育広報が手元に届く頃には新学期が始まり、子どもたちは新しい教科書を見ながら学習への意欲を高めていることでしょう。学ぶことは子どもたちだけのものではありません。これまで知らなかったことを知ったり、できなかったことができるようになったりすることは生活のようになったりすることは生活の便利にも豊かにもしてくれま

訪れに合せて、学びを始めさせていただきます。春の

学びを始めよう  
教育委員会委員 坂本和良

教育委員会委員 坂本和良



教育委員会委員コラム